

この演習について

- 担当者：藤井 雅史（ふじい まさし）
研究室：理学部 A 棟 116 号室（およびその周辺） 内線：7106
Email：m-fujii0123_at_hiroshima-u.ac.jp
- 本演習の目的は様々な解析的に解ける常微分方程式の解法を習得することが大きな目標です。従って、解法が身に付いたかどうかで成績を判断します（後述）。
- 基本的に解析学 D の講義（滝本和広先生担当）の内容に準拠しているので、講義をセットで履修することが望ましいです。
講義では解の存在の一意性や厳密性などの定理の証明などについても行いますが、本演習では基本的に計算問題が主になります。
- 3 回に 1 回、小テストを行います。（順番が変わることもあります。）
- 演習の回は休み時間の中に解答を板書しても構いません、小テストの回は小テストが終わるまで板書はしないでください。
- 演習では中間試験・期末試験は行いません。成績は、演習の解答回数および小テストの成績で総合的に判定します（最低 1 回は演習で解答して下さい）。ただし、ボーダーライン付近では講義の中間試験・期末試験の得点を加味するか、レポートを課す場合があります。
- 質問・相談は演習の時間中はもちろん、時間外でも藤井の居室でも可です。
※ 出張や別件で対応できないときもありますので、事前にメールなどでコンタクトすると在室時間がわかります。
- 配布した資料は、下記のページにリンクしておきますので、欠席したときなどは活用してください。
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/~mafujii/授業資料/解析学D演習>
- この演習では、 C や C_1, C_2, \dots は（積分）定数として扱いますので、逐一（ C ：積分定数）などと書く必要はありません。

小テスト予定

- 10 月 9 日：演習問題 1 の内容
- 10 月 23 日：演習問題 2 の内容
- 11 月 6 日：演習問題 3 の内容
- 11 月 15 日：演習問題 4 の内容
- 11 月 27 日：演習問題 5 の内容